

# あるこ!

## 九州自然歩道の旅 ⑨

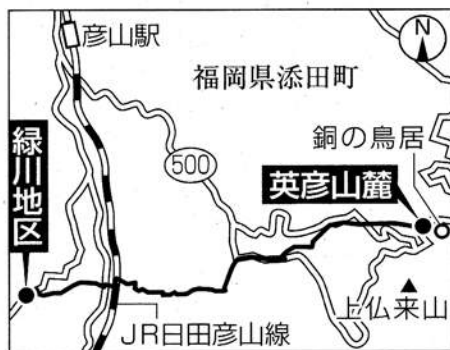
福島 優

前回(3月20日付)は、全長約3千キロの「九州自然歩道」で福岡県添田町の英彦山頂への歩き旅でした。今回は小石原(福岡県東峰村)へと歩を進めます。英彦山中腹の奉幣殿から石段の参道を下りていきます。幕末には英彦山全域で250余りあったと言われる山伏たちの坊。唯一ほぼ完全な形で残っているのが「財藏坊」です。今歩いてる道が、昔の人も使っていたと考えると、なんだかその時代に親近感がわきます。そして参道入り口の銅の鳥居



英彦山を下る石畳の道

### 英彦山—緑川地区



# 集落や川、尾根横切り

に到着しますが、実はさらにそこから下に石段が続いていきます。民家の裏手を通ったり、お地蔵さんの前を通ったりと、ひっそりした裏道を歩いていきます。そうすると国道500号のきれいな道に出ます。下っていくにはJR彦山駅に通じる道です。

九州自然歩道はこの道を渡り、再び細いあぜ道を下っていきます。民家の横を流れる川は彦山川で、直方で遠賀川と合流します。彦山川の橋を渡ると、南坂本地区でもあまり人が歩かないようなところらしく、壊れた看板を横目に草が茂っている道を進みます。舗装路に出るとそこは貝吹峠。地図付きの看板が立っています。その先は再びあぜ道へ。迷いそうになる道ですが、しっかりと見てみると人の通った雰囲気というか道の雰囲気が見えて歩くことができます。しばらく歩くと舗装路に変わります。しばらく歩くと舗装路に変わります。巨峰フムネやうどん、定食もあるので良い休憩スポットです。少し休んでから東峰村まで



裏道やあぜ道を下ってたどり着いた緑川地区



JR日田彦山線の線路、そして深倉川を渡ります。やっと集落に出たと思ったらまたあぜ道に入り、尾根を越えていきます。尾根の小高い場所にはお地蔵さんがまつられています。それからはゆったりした道を下っていきます。私が歩いたときは人や車の音がせず、森の静けさを味わいました。三たび、車道に出るとまた国道500号で

今回は、裏道、やぶ道、あぜ道と、集落と川や尾根を横切っていくような約4キロ、2時間の旅でした。来週は東峰村の小石原に入ります。

九州自然歩道フォーラム会員 (福岡市)

次回回は15日に掲載予定です。

九州自然歩道はこの道を渡り、再び細いあぜ道を下っていきます。民家の横を流れる川は彦山川で、直方で遠賀川と合流します。彦山川の橋を渡ると、南坂本地区でもあまり人が歩かないようなところらしく、壊れた看板を横目に草が茂っている道を進みます。舗装路に出るとそこは貝吹峠。地図付きの看板が立っています。その先は再びあぜ道へ。迷いそうになる道ですが、しっかりと見てみると人の通った雰囲気というか道の雰囲気が見えて歩くことができます。しばらく歩くと舗装路に変わります。しばらく歩くと舗装路に変わります。巨峰フムネやうどん、定食もあるので良い休憩スポットです。少し休んでから東峰村まで